



姫路製造所 高吸水性樹脂（SAP）プラント増設

需要増に対応した増設//
世界トップクラスのシェア維持

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、社長：近藤忠夫）は、高吸水性樹脂（以下SAP）の次期増強計画を決定し、姫路製造所（兵庫県）内に2010年秋完工を目処に生産能力年6万トンの新プラントを建設する。これにより欧米、中国を合わせた全世界での当社の生産能力は、47万トン体制に拡大する。新プラントには最新の技術を採用、より効率的な生産プロセスとなる予定。

SAPの世界需要は現在約140万トン/年であるが、現在の不況下においても需要は確実に伸長しており、この数年は平均5%程度の伸びを示している。特に主用途である紙おむつ市場では、乳幼児用に加え大人用が伸びている他、新興国においても急速に需要が拡大しており、当社としては市場の伸びに合わせたSAP供給体制を構築していく方針。

今回の増設により、世界トップメーカーの地位を確固たるものにするるとともに、今後も、アクリル酸からSAPまでの一貫生産の強みを生かした事業展開を図っていく。

<ご参考：当社グループのSAP生産能力>

	(万トン/年)		
	国内	海外	合計
増設前	26	15	41
増設後	32	15	47

以上

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 IR・広報室

Tel:03-3506-7477 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2